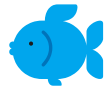




もい・かわだより NO.25



2023.09.27 なかよしこども園

🐟かわ組編(欠:ゆら・たいき)

昨日できなかった分、今日はやろうと意気込んでいたかわ組…でも**そうへい**が乗り気ではなく、『やだー』と言っていた。山田『**そうへい**は、どうして嫌なの?』**そうへい**『・・・やっぱりやろうかな』そしてミーティング。今日出てきた作戦はこんな感じでした。

○裸足で速い→遅い→速い(なぎ) ○腕をいっぱい振る、つま先で走る(れい)
○足を後ろにする(けい) ○ダッシュする(いた)

そして珍しく**かふな**が手を挙げています。聞いてみると『**こうた**が、手を👏にすると速いって言ってた』と。言ってくれたのが初めてだったし、**かふな**の気持ちが日々近づいている感じがして、**かふな**に言うてみることにした。山田『**かっち**、一回もまだ走ってないじゃん?今日、どうする?今日はやってみて次考えてみたらどうかな』隣に座っていた**なぎ**『そうだよ**かっち**…やってみようよ絶対速いよ…』と何度も声を掛けて説得している。困り顔になる**かふな**…悩んで…**かふな**『やらない』山田『うん分かった。』

多分ここで強制的に走らせることもできたけれど、絶対にそれはしたくない。ここで子どもたちが自分の気持ちと向き合って、ひとつ殻を破ることが成長だと思うから…。でもこれまでの生活のなかで“気持ちを伝えてくれたらそれでいいよ”と個々の気持ちを尊重してきたからこそ、かわ組も葛藤している**たいき・かふな**に対して無理強いしないんだと思います。来週末に当日を迎えるけど、どこで決着をつけようか…どんな風にしてかわ組の全員リレーをしようか…担任はずっとそんなことを考えています。

そして順番決め。自分のやりたい順番で立候補をして、被ったらその人たちで決めるというやりかた。走順はこう。

(**すみれ**が勇気を出して、2回走る人に初めて手を挙げた！)

じゃんけんで負けて叶わなかったけれど、その気持ち、すごい！)

園庭に出て、裸足でスタンバイするかわ組。だんだんと走るときの表情にグッと気持ちが入ってきたような感じがしました。今日は、抜いて抜かされての超接戦!!!他の学年の子ども先生たちも応援に出てきてくれて、当日のBGMも掛けて挑んだリレー。そして結果は、負けでした。

アンカーの**そうへい**は、初めて悔し涙を流していました。そこに寄り添う**すみれ**。子どもたちのとても悔しそうな姿。全力で走っていた気持ちが伝わってきて、でも負けてそこに向き合う子どもたちの姿に、なんだか涙が出てきた担任。そんな担任のもとに来て、『悔しいからもう一回走ろうって言おう!』と**みつき**。『本番は絶対勝つからね!大丈夫だからね』と声を掛けてくれる子どもたち。

部屋に帰ってきて、ギリギリまでみんなと話し合いました。今日の負けで、子どもたちの空気がなんだか変わったような…**れい**が『やっぱりアンカーが一番速い人がいいと思う』山田『誰が一番速いと思う?』**れい**『みんな速いんだよね…』みんな『**たいき**じゃない?**そうへい**かな?**けい**くん?』**たいき**『みんなと一緒に一いドンして一番にゴールした人が速いよ!』山田『じゃあそれで明日やってみよう!』

ついに最終段階に入った気がする!明日はどうなるかな!!でもとにかく、みんなすごい🥹!!!!!!



♣ もり組編

昨日は担任のお休みでリレー対決ができなかったので、今日は朝からバチバチの対決モード💧
お誕生日会が終わると作戦会議。ただ、両クラスとも会議に熱が入り勝負は午後に持ち越しになりました。ここまでの作戦会議で、だいぶ具体的に走り方やバトンパスについて話が出てきているもり組。『腕をのばして待つ』『腕をのばして渡す』『待っている人は手をパーにする』もう陸上部並みです(笑) 会議中もみんなの気持ちが真ん中に集まっていた、今日は『やりたくない』子も出ず順番決めになりました。

子どもたち『〇〇ばんがいい！』『アンカーがいい！』

吉田『みんなが自分のやりたい場所があるのはよくわかるよ。でもね、もり組がクラスとして勝つためにはどんな順番で走ったらいいかをみんなで考えたいんだ』

子どもたち・・・真剣な表情で聞いている。

吉田『まずはこの前やった《ななかサポート作戦》はどうだったかな？』

子どもたち『うまかったー！』吉田『でも、ななか走らなかったからもう一度あの作戦でやってみただけ、とっくん2番で走ってくれる？』**とうぎ**『えー。きょうはやだな。』吉田『そうか、じゃあどうしようか』**あきと**『あきとがはしる！』吉田『ありがとう！あとはサポーターが二人だとななか競争かと思って走れないっていう意見が出てたから一人にしてみよう。』**は)まい**『手を挙げて)まいちゃん！』吉田『まなちゃんはコーナーにいてこっちだよって呼んであげるんだよね？』

まな『うん！』

そして、順番を決める時にはいろんな意見が出ていく中でコーナーであそんでいた**きっぺい・かなた**が気付くと輪の中に入り自分の思いを発言していました。みんなの中で1番とアンカーは速い人が良いという意見が出て、子どもたちにアンカーは誰がいいかな？と聞くと**こうた**が選ばれました。そしていつもはアンカーがやりたい**きっぺい**が、

アンカーは**こうた**がやることを受け止めて、1番に走るのは速い人にしようという話の時に『**かなた**がいい！』と言ったのです。自分のことだけではなく周りに目を向けられるようになったんだと本当にうれしく思いました😊

そして決まった走り順は・・・



ななかに昼食の時に『よーいドンしようね』と言うと、『**はるまさ**とよーいどんしたい』と気持ちを伝えてくれました！みんなもそれがいいね！と受け入れてくれて、ななかのサポーターは**はるまさ**になりました。この作戦で今日の対決はもり組が勝ちました！